

製品名: GRM7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81885**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	102.3kDa

抗原情報

遺伝子名	GRM7
別名	GLUR7; MGLU7; GPRC1G; MGLUR7; PPP1R87
遺伝子 ID	2917.0
SwissProt ID	Q14831
免疫原	大腸菌で発現したヒト GRM7 (AA: 454-590) の精製された組み換え断片。

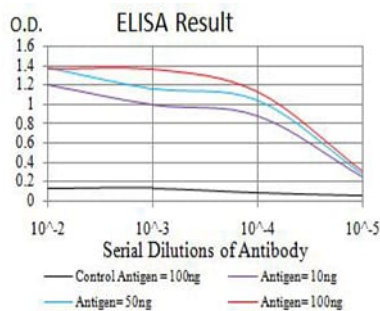
背景

L-グルタミン酸は中枢神経系の主要な興奮性神経伝達物質であり、イオンチャンネル型および代謝型グルタミン酸受容体の両方を活性化します。グルタミン酸作動性神経伝達は正常な脳機能のほとんどの側面に関与しており、多くの神経病理学的状態では障害を受け

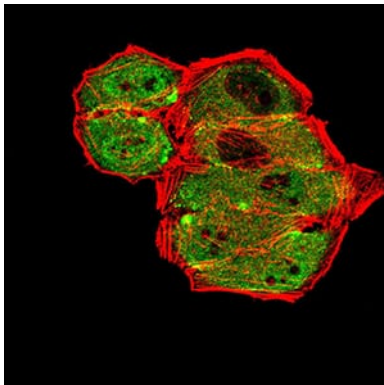
る可能性があります。代謝型グルタミン酸受容体は、配列相同性、推定シグナル伝達機構、および薬理学的特性に基づいて 3つのグループに分類される G タンパク質共役受容体のファミリーです。グループ I には GRM1 と GRM5 が含まれ、これらの受容体はホスホリパーゼ C を活性化することが示されている。グループ II には GRM2 と GRM3 が含まれ、グループ III には GRM4、GRM6、GRM7、および GRM8 が含まれます。グループ II および III の受容体は、サイクリック AMP カスケードの阻害に関連していますが、アゴニスト選択性が異なります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。

研究分野

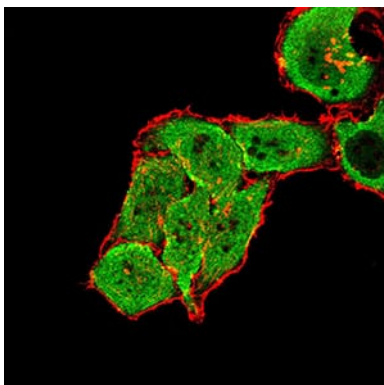
画像データ



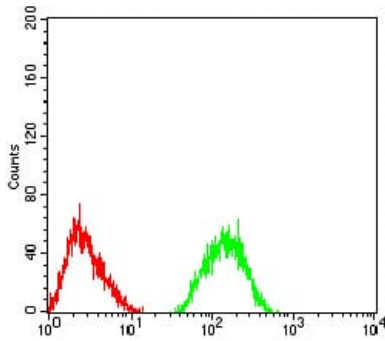
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



GRM7 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



GRM7 マウス mAb (緑) を用いた SMMC-7721 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



GRM7 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した SH-SY5Y 細胞のフローサイトメトリー分析。